

平成 21 年度 事務事業事後評価調書 (平成 20 年度事業)

整理番号 11 - 9

1 事務事業の表示

※ ■ : 該当

事務事業名	社会体育団体活動費助成事業					
評価者	担当課名	社会教育課		担当係名	体育振興係	
	管理職	職名	課長	作成者	職名	
		氏名	高橋健仁	氏名	佐藤公輔	
事業の概要	本町の生涯スポーツ活動の中核的な役割を果たしている体育連盟・スポーツ少年団の育成やスポーツを通して地域の活性化や将来の指導者を養成するため、団体の活動に対し、助成するものである。				全体計画 / 単年度繰返 (平成 20 年度 ~ 24 年度)	
					国・道支出金	千円
					地方債	千円
					その他	千円
					一般財源	2,700 千円
事業費計	2,700 千円					
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営	<input type="checkbox"/> 民間委託	<input type="checkbox"/> その他 ()			
第 5 期 総合計画 (前期)	<input checked="" type="checkbox"/> 登載事業	<input type="checkbox"/> 非登載事業	優先度	B		
事業の位置付け	政策目標	3 のびやか・雄武～教育・文化の振興～				
	基本施策	13 生涯学習・生涯スポーツの推進				
	単位施策	1 推進体制の強化				
	事務事業の種類	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務	<input type="checkbox"/> 法定受託事務			
	その他計画・根拠等					
事業費	実施年度	20年度(実績)	21年度(見込)	22年度(計画)	23年度(計画)	24年度(計画)
	国・道支出金	千円	千円	千円	千円	千円
	地方債	千円	千円	千円	千円	千円
	その他財源	千円	千円	千円	千円	千円
	雄武町負担額 (一般財源)	540 千円	540 千円	540 千円	540 千円	540 千円
	合計	540 千円	540 千円	540 千円	540 千円	540 千円

2 事務事業の目的・内容(Plan・Do)

【誰、何が(対象)】	町民(スポーツ団体)	望ましい指標(目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標)				
【抱える課題やニーズは】	過疎化や少子化等による加盟単位協会や会員の減少。	現団体の加盟協会の維持				
【どのような状態になることを目指したのか(意図)】	町民一人でも多くの単位協会への加盟とスポーツ活動の積極的な参加を目指す。	① 体育連盟16協会	指標(指標計算式/解説)			目標値及び実績値
			目標年度	20年度		
			目標値	16 協会		
			実績値	16 協会		
			達成度	100.0 %		
【その結果、どのような成果を実現したいか】 ※成果=目的	生涯スポーツの普及推進、指導者の養成や地域の活性化を図る。	② スポーツ少年団4協会	目標年度	20年度		
			目標値	4 協会		
			実績値	4 協会		
			達成度	100 %		
内 容(どのような手段で何を行ったか)						
体育連盟、スポーツ少年団への補助	予算・決算・実施事業等の実績報告を求め、内容を審査し補助する。 体育連盟 400千円 スポーツ少年団 140千円					

3 事務事業の評価(Check)

(1)事務事業の必要性(町民ニーズ・社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか。当該事務事業を実施しない場合の支障、既存事務事業との機能重複や見直しによる対応可能性)

必要 必要／概ね必要／ 課題あり	<input type="checkbox"/> 義務的なもの	本町の生涯スポーツを推進する基幹団体であり、スポーツ活動を通して町民の交流を深めるとともに、将来の指導者を養成することも目的としている。また、町の活性化にも繋がるため、これら団体を育成・支援することが必要である。
	<input type="checkbox"/> 全部 <input type="checkbox"/> 一部	

(2)事務事業の有効性(期待する効果が得られたか)

有効 有効／概ね有効／ 課題あり	設定した目標値の達成状況	各団体の単位協会加入者は、年々減少傾向にあるが、現在体育連盟は16協会700名、スポーツ少年団は100名(指導者含む)にて活動しており、町内外の各種大会へも積極的に取り組んでいる。
	<input checked="" type="checkbox"/> 達成 <input type="checkbox"/> ほぼ達成 <input type="checkbox"/> 下回る	

(3)事務事業の効率性(コストに見合った効果が得られたか、計画上のコストを下げる工夫をしたか)

効率的 効率的／概ね効率的／ 課題あり	判断の理由	平成18年度より約1/3を減額しており、これ以上の削減は、生涯スポーツの推進に支障が出る恐れがある。
	<input type="checkbox"/> 事業費抑制 <input type="checkbox"/> 人員削減 <input type="checkbox"/> 時間短縮・作業軽減 <input checked="" type="checkbox"/> その他	

(4)事務事業の公平性

公平 公平／概ね公平／ 公平でない	判断の理由	実績報告書等を勘案して補助交付している。各種団体の事業については、広く町民に窓口を広げ、参加促進を進めている。
	<input type="checkbox"/> 受益者負担がある <input type="checkbox"/> 受益者負担がない <input type="checkbox"/> 受益が一部に偏る <input checked="" type="checkbox"/> その他	

4 総合評価【A～D】

- A:計画通り事業が進んでいる。目標が達成された。今後も計画通り事業を進めることが適当 等
 B:ほぼ計画通りに進んでいるが目標に達成していない。事業の進め方に改善が必要 等
 C:当初の計画を達成できていない。事業規模、内容、実施主体等の見直しが必要 等
 D:事業効果が表れていない。事業の統合、休・廃止の検討が必要 等

自己評価(一次評価)	評価会議評価(二次評価)	町長評価(三次評価)
A 本町のスポーツ活動の中心的役割を果たしている団体への補助は、生涯スポーツを推進するうえで重要である。		

今後の展開方向
(Action)

継続／現状維持 スポーツは、社会の活性化を促進させるとともに、人と人、地域と地域の交流や親睦を深める最高の手段である。また、子ども達にとっても協調性や競争意識などを養える学習の場でもあり、今後もこれらの助成は継続すべきである。		
---	--	--

*展開方向の区分

- 継続／現状維持又は拡充又は縮小又は統合又は内容の見直し・変更 終了 休止 廃止

5 その他特記事項 (アンケート調査など外部評価を受けた場合は、その旨記入)

--

平成 21 年度 事務事業事後評価調書 (平成 20 年度事業)

整理番号 11 - 10

1 事務事業の表示

※ ■ : 該当

事務事業名	スポーツ大会推進事業					
評価者	担当課名	社会教育課		担当係名	体育振興係	
	管理職	職名	課長	作成者	職名	主査
		氏名	高橋健仁		氏名	佐藤公輔
事業の概要	町民の健康維持、体力づくりの奨励とスポーツを通じて、地域、世代間の交流・親睦を図るため各種スポーツ大会を開催する。			全体計画 / 単年度繰返 (平成 20 年度 ~ 24 年度) 事業費 国・道支出金 千円 地方債 千円 その他 千円 一般財源 2,050 千円 事業費計 2,050 千円		
実施方法	■ 直営	民間委託	その他 ()			
第 5 期 総合計画 (前期)		■ 登載事業	非登載事業	優先度	B	
事業の位置付け	政策目標	3 のびやか・雄武～教育・文化の振興～				
	基本施策	13 生涯学習・生涯スポーツの推進				
	単位施策	2 学習・スポーツ活動の推進				
	事務事業の種類	■ 自治事務	法定受託事務			
	その他計画・根拠等					
事業費	実施年度	20年度(実績)	21年度(見込)	22年度(計画)	23年度(計画)	24年度(計画)
	国・道支出金	千円	千円	千円	千円	千円
	地方債	千円	千円	千円	千円	千円
	その他財源	16 千円	千円	千円	千円	千円
	雄武町負担額 (一般財源)	347 千円	410 千円	410 千円	410 千円	410 千円
	合計	363 千円	410 千円	410 千円	410 千円	410 千円

2 事務事業の目的・内容(Plan・Do)

【誰、何が(対象)】	町民	望ましい指標(目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標)	
【抱える課題やニーズは】	大会等の参加者が年々減少傾向にある。	参加者数の確保	
【どのような状態になることを目指したのか(意図)】	大会参加後の、各団体・グループでの独自開催	① 大会参加者数	指標(指標計算式/解説)
			目標年度 20年度
			目標値 600 人
			実績値 540 人
【その結果、どのような成果を実現したいか】 ※成果=目的	町民が何らかのスポーツを実践し、仲間づくりや各世代間の交流を深めるとともに、自ら進んで行くこと。	②	達成度 90.0 %
			目標年度
			目標値
			実績値
達成度 %			
内 容(どのような手段で何を行ったか)			
各種スポーツ大会の開催	町広報、新聞チラシ等による周知後申込受付。種目によっては参加者負担金の徴収を経て開催。(オムリンピック、雪合戦、自治会対抗、キンボール、さわやかスポーツデー)		

3 事務事業の評価(Check)

(1)事務事業の必要性(町民ニーズ・社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか。当該事務事業を実施しない場合の支障、既存事務事業との機能重複や見直しによる対応可能性)

必要 必要／概ね必要／ 課題あり	<input type="checkbox"/> 義務的なもの	少子・高齢化が進む中、本町においてもスポーツ人口は減少しており、スポーツを全く行わない町民も増えている。
	<input type="checkbox"/> 全部 <input type="checkbox"/> 一部	

(2)事務事業の有効性(期待する効果が得られたか)

有効 有効／概ね有効／ 課題あり	設定した目標値の達成 状況	軽スポーツ大会を開催することにより、幅広い年齢層の参加が得られている。
	<input type="checkbox"/> 達成 <input checked="" type="checkbox"/> ほぼ達成 <input type="checkbox"/> 下回る	

(3)事務事業の効率性(コストに見合った効果が得られたか、計画上のコストを下げる工夫をしたか)

効率的 効率的／概ね効率的／ 課題あり	判断の理由	経費については、報償費、賞品代等努めて最小限の歳出で実施している。ただし、受益者負担の原則から参加費等の徴収も検討していくことが必要である。(一部大会は徴収)
	<input checked="" type="checkbox"/> 事業費抑制 <input type="checkbox"/> 人員削減 <input type="checkbox"/> 時間短縮・作業軽減 <input type="checkbox"/> その他	

(4)事務事業の公平性

公平 公平／概ね公平／ 公平でない	判断の理由	広く町民に呼び掛け、参加促進を進めている。
	<input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担がある <input type="checkbox"/> 受益者負担がない <input type="checkbox"/> 受益が一部に偏る <input type="checkbox"/> その他	

4 総合評価【A～D】

- A:計画通り事業が進んでいる。目標が達成された。今後も計画通り事業を進めることが適当 等
 B:ほぼ計画通りに進んでいるが目標に達成していない。事業の進め方に改善が必要 等
 C:当初の計画を達成できていない。事業規模、内容、実施主体等の見直しが必要 等
 D:事業効果が表れていない。事業の統合、休・廃止の検討が必要 等

自己評価(一次評価)	評価会議評価(二次評価)	町長評価(三次評価)
A		
一定の参加者も確保しているものの、将来的には一部大会内容の変更も検討しながら進めていく。		

今後の展開方向

(Action)

継続／現状維持		
スポーツは、健全な精神と健康な身体を養成し、心豊かな生活を過ごす上からも必要不可欠なものであり、今後も何らかのスポーツの機会を提供することは継続しなければならない。		

*展開方向の区分

- 継続／現状維持又は拡充又は縮小又は統合又は内容の見直し・変更 ○ 終了 ○ 休止 ○ 廃止

5 その他特記事項 (アンケート調査など外部評価を受けた場合は、その旨記入)

--

平成 21 年度 事務事業事後評価調書 (平成 20 年度事業)

整理番号 11 - 11

1 事務事業の表示

※ ■ : 該当

事務事業名	スポーツ教室推進事業					
評価者	担当課名	社会教育課		担当係名	体育振興係	
	管理職	職名	課長	作成者	職名	
		氏名	高橋 健仁	氏名	佐藤 公輔	
事業の概要	町民や学校週5日制による余暇時間の増えた子ども達に広くスポーツに親しむ機会や健康を維持する学習活動を提供するため、各種スポーツ・学習教室を開催する。				全体計画 / 単年度繰返	
					(平成 20 年度 ~ 24 年度)	
					国・道支出金	千円
					地方債	千円
					その他	千円
	一般財源	960 千円				
	事業費計	960 千円				
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営	<input type="checkbox"/> 民間委託	<input type="checkbox"/> その他 ()			
第5期総合計画(前期)	<input checked="" type="checkbox"/> 登載事業	<input type="checkbox"/> 非登載事業	優先度	B		
事業の位置付け	政策目標	3 のびやか・雄武～教育・文化の振興～				
	基本施策	13 生涯学習・生涯スポーツの推進				
	単位施策	2 学習・スポーツ活動の推進				
	事務事業の種類	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務	<input type="checkbox"/> 法定受託事務			
	その他計画・根拠等					
事業費	実施年度	20年度(実績)	21年度(見込)	22年度(計画)	23年度(計画)	24年度(計画)
	国・道支出金	千円	千円	千円	千円	千円
	地方債	千円	千円	千円	千円	千円
	その他財源	千円	千円	千円	千円	千円
	雄武町負担額(一般財源)	163 千円	240 千円	160 千円	160 千円	160 千円
	合計	163 千円	240 千円	160 千円	160 千円	160 千円

2 事務事業の目的・内容(Plan・Do)

【誰、何が(対象)】	町民	望ましい指標(目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標)			
【抱える課題やニーズは】	参加者の固定・減少化	参加者			
		指標(指標計算式/解説)	目標値及び実績値		
【どのような状態になることを目指したのか(意図)】	子どもから一般まで一人でも多くスポーツに親しむことを目指す。	① 参加者	目標年度	20年度	
			目標値	250 人	
			実績値	1332 人	
			達成度	532.8 %	
【その結果、どのような成果を実現したいか】 ※成果=目的	体を動かすことの楽しさと爽やかさ、運動後の体のケアを自己管理する。	②	目標年度		
			目標値		
			実績値		
			達成度	%	
内 容(どのような手段で何を行ったか)					
各種教室等の開催	町広報、学校、新聞チラシ等による周知を行い、教員、体育指導委員、体育連盟等の指導者協力を得て開催。(わんぱくスポーツ道場・AED講習会・ジュニアスクール・ブルームボール教室)				

3 事務事業の評価(Check)

(1)事務事業の必要性(町民ニーズ・社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか。当該事務事業を実施しない場合の支障、既存事務事業との機能重複や見直しによる対応可能性)

必要	<input type="checkbox"/> 義務的なもの	子どもから大人まで気軽にスポーツに親しむ機会が減少しており、生涯スポーツの推進を図るためにも各年齢層のスポーツ活動の参加を促進させる必要がある。
	<input type="checkbox"/> 全部 <input type="checkbox"/> 一部	
必要／概ね必要／課題あり		

(2)事務事業の有効性(期待する効果が得られたか)

有効	設定した目標値の達成状況	一部教室ではサークル化が図られ、事業終了後も活動を行っている。また、楽しみにしている子ども達も多い。
	<input checked="" type="checkbox"/> 達成 <input type="checkbox"/> ほぼ達成 <input type="checkbox"/> 下回る	
有効／概ね有効／課題あり		

(3)事務事業の効率性(コストに見合った効果が得られたか、計画上のコストを下げる工夫をしたか)

効率的	判断の理由	この種の教室は、指導者も町内関係者が主で、比較的低予算で開催可能である。しかし、今後のニーズにより外部の指導者等を招聘する場合も想定され、流動的である。
	<input checked="" type="checkbox"/> 事業費抑制 <input type="checkbox"/> 人員削減 <input type="checkbox"/> 時間短縮・作業軽減 <input type="checkbox"/> その他	
効率的／概ね効率的／課題あり		

(4)事務事業の公平性

公平	判断の理由	広く町民に呼び掛け、参加促進を進めている。
	<input type="checkbox"/> 受益者負担がある <input type="checkbox"/> 受益者負担がない <input type="checkbox"/> 受益が一部に偏る <input checked="" type="checkbox"/> その他	
公平／概ね公平／公平でない		

4 総合評価【A～D】

- A:計画通り事業が進んでいる。目標が達成された。今後も計画通り事業を進めることが適当 等
 B:ほぼ計画通りに進んでいるが目標に達成していない。事業の進め方に改善が必要 等
 C:当初の計画を達成できていない。事業規模、内容、実施主体等の見直しが必要 等
 D:事業効果が表れていない。事業の統合、休・廃止の検討が必要 等

自己評価(一次評価)	評価会議評価(二次評価)	町長評価(三次評価)
A		
本事業は、町民の健康・体力づくりに寄与するためには必要な事業であり、今後も町民のニーズを把握しながら推進していく。		

今後の展開方向

(Action)

継続／現状維持		
20年度から、町内の小学生を対象としたジュニアスクール(チャリーディング)を開設し、44名がレッスンに励んでおり、その成果をイベントで発表することもできた。成果を発表することも狙いとし、生涯スポーツ推進に本事業は欠かせないものである。		

*展開方向の区分

- 継続／現状維持又は拡充又は縮小又は統合又は内容の見直し・変更 終了 休止 廃止

5 その他特記事項 (アンケート調査など外部評価を受けた場合は、その旨記入)

--

平成 21 年度 事務事業事後評価調書 (平成 20 年度事業)

整理番号 11 - 12

1 事務事業の表示

※ ■ : 該当

事務事業名	雄武町スポーツ振興事業					
評価者	担当課名	社会教育課		担当係名	体育振興係	
	管理職	職名	課長	作成者	職名	主査
		氏名	高橋健仁		氏名	佐藤公輔
事業の概要	各種スポーツの全国・全道大会へ衆生する個人又は団体へ経費の一部を補助する事業である。			全体計画 / 単年度繰返 (平成 20 年度 ~ 24 年度) 事業費 国・道支出金 千円 地方債 千円 その他 千円 一般財源 2,000 千円 事業費計 2,000 千円		
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営	<input type="checkbox"/> 民間委託	<input type="checkbox"/> その他 ()			
第 5 期 総合計画 (前期)	<input checked="" type="checkbox"/> 登載事業	<input type="checkbox"/> 非登載事業	優先度	B		
事業の位置付け	政策目標	3 のびやか・雄武～教育・文化の振興～				
	基本施策	13 生涯学習・生涯スポーツの推進				
	単位施策	2 学習・スポーツ活動の推進				
	事務事業の種類	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務	<input type="checkbox"/> 法定受託事務			
	その他計画・根拠等	雄武町スポーツ振興事業補助交付要綱				
事業費	実施年度	20年度(実績)	21年度(見込)	22年度(計画)	23年度(計画)	24年度(計画)
	国・道支出金	千円	千円	千円	千円	千円
	地方債	千円	千円	千円	千円	千円
	その他財源	千円	千円	千円	千円	千円
	雄武町負担額 (一般財源)	610 千円	400 千円	400 千円	400 千円	400 千円
	合計	610 千円	400 千円	400 千円	400 千円	400 千円

2 事務事業の目的・内容(Plan・Do)

【誰、何が(対象)】	町民(スポーツ団体等)	望ましい指標(目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標)				
【抱える課題やニーズは】	個人・団体の負担軽減	大会出場種目の個人・団体				
【どのような状態になることを目指したのか(意図)】	スポーツ活動のよりレベルの高い競技意識の喚起。	① 出場種目 個人	指標(指標計算式/解説)			目標値及び実績値
			目標年度	20年度		
			目標値	2 種目		
			実績値	0 種目		
【その結果、どのような成果を実現したいか】 ※成果=目的	充実したスポーツ活動の推進、競技志向の高揚を目指す。	② 出場種目 団体	指標(指標計算式/解説)			目標値及び実績値
			目標年度	20年度		
			目標値	1 種目		
			実績値	2 種目		
達成度 200 %						
内 容(どのような手段で何を行ったか)						
個人・団体への出場経費の補助	スポーツ競技における全国・全道大会へ出場する個人・団体からの申請書提出後、要綱に基づき審査を行い助成した。ブルーム協会世界大会出場に係る助成500千円、雄武中学校卓球部全道大会出場に係る助成110千円。					

3 事務事業の評価(Check)

(1)事務事業の必要性(町民ニーズ・社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか。当該事務事業を実施しない場合の支障、既存事務事業との機能重複や見直しによる対応可能性)

必要 必要／概ね必要／ 課題あり	<input type="checkbox"/> 義務的なもの	全国・全道大会は、開催地等により個人負担は増となる。これらの大会に出場することは、本町のPR効果も充分に果たすものであり、一部の助成は必要である。
	<input type="checkbox"/> 全部 <input type="checkbox"/> 一部	

(2)事務事業の有効性(期待する効果が得られたか)

有効 有効／概ね有効／ 課題あり	設定した目標値の達成状況	本町のスポーツ活動に良い刺激を与えていると考える。
	<input checked="" type="checkbox"/> 達成 <input type="checkbox"/> ほぼ達成 <input type="checkbox"/> 下回る	

(3)事務事業の効率性(コストに見合った効果が得られたか、計画上のコストを下げる工夫をしたか)

効率的 効率的／概ね効率的／ 課題あり	判断の理由	年度によって交付件数に増減があるものの、事業的には効率的に推移している。
	<input type="checkbox"/> 事業費抑制 <input type="checkbox"/> 人員削減 <input type="checkbox"/> 時間短縮・作業軽減 <input checked="" type="checkbox"/> その他	

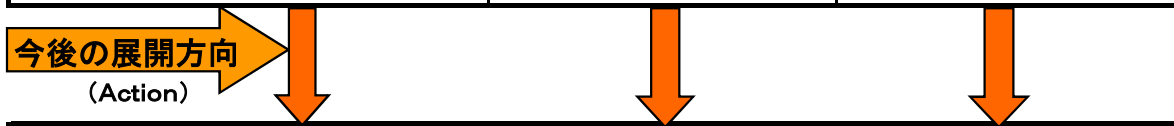
(4)事務事業の公平性

公平 公平／概ね公平／ 公平でない	判断の理由	大会成績により補助している。
	<input type="checkbox"/> 受益者負担がある <input type="checkbox"/> 受益者負担がない <input type="checkbox"/> 受益が一部に偏る <input checked="" type="checkbox"/> その他	

4 総合評価【A～D】

- A:計画通り事業が進んでいる。目標が達成された。今後も計画通り事業を進めることが適当 等
 B:ほぼ計画通りに進んでいるが目標に達成していない。事業の進め方に改善が必要 等
 C:当初の計画を達成できていない。事業規模、内容、実施主体等の見直しが必要 等
 D:事業効果が表れていない。事業の統合、休・廃止の検討が必要 等

自己評価(一次評価)	評価会議評価(二次評価)	町長評価(三次評価)
A		
本事業は、本町の競技スポーツの向上に繋が り、特に子ども達には競技意識の高揚にも効 果がある。		



継続／現状維持		
スポーツ活動の推進と共に、レベルの高いアス リート・将来の指導者の養成といった観点か ら、今後も継続すべきである。		

*展開方向の区分

- 継続／現状維持又は拡充又は縮小又は統合又は内容の見直し・変更 終了 休止 廃止

5 その他特記事項(アンケート調査など外部評価を受けた場合は、その旨記入)

助成金の額は、当初予算に計上せず、該当団体等が出た場合、予算補正対応している。

平成 21 年度 事務事業事後評価調書 (平成 20 年度事業)

整理番号 11 - 13

1 事務事業の表示

※ ■ : 該当

事務事業名		社会体育施設委託業務事業				
評価者	担当課名	社会教育課		担当係名	体育振興係	
	管理職	職名	課長	作成者	主査	
		氏名	高橋健仁		氏名	佐藤公輔
事業の概要	本町の生涯スポーツの推進に寄与すべく主要な体育施設の適正な管理を民間業者等に委託するものである。				全体計画 / 単年度繰返 (平成 20 年度 ~ 24 年度) 事業費 国・道支出金 千円 地方債 千円 その他 千円 一般財源 48,950 千円 事業費計 48,950 千円	
実施方法	直営	■ 民間委託		その他 ()		
第 5 期 総合計画 (前期)		■ 登載事業		非登載事業	優先度	B
事業の位置付け	政策目標	3 のびやか・雄武～教育・文化の振興～				
	基本施策	13 生涯学習・生涯スポーツの推進				
	単位施策	5 施設・備品の有効活用				
	事務事業の種類	■ 自治事務		法定受託事務		
	その他計画・根拠等					
事業費	実施年度	20年度(実績)	21年度(見込)	22年度(計画)	23年度(計画)	24年度(計画)
	国・道支出金	千円	千円	千円	千円	千円
	地方債	千円	千円	千円	千円	千円
	その他財源	千円	千円	千円	千円	千円
	雄武町負担額 (一般財源)	8,707 千円	9,610 千円	9,910 千円	9,610 千円	9,910 千円
	合計	8707 千円	9610 千円	9910 千円	9610 千円	9910 千円

2 事務事業の目的・内容(Plan・Do)

【誰、何が(対象)】	社会体育施設	望ましい指標(目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標)			
【抱える課題やニーズは】	良好な施設の維持管理。	年間利用者数			
		指標(指標計算式/解説)	目標値及び実績値		
【どのような状態になることを目指したのか(意図)】	利用者数の増加と安全・安心な施設利用。 経費削減	① 各スポーツ施設 年間利用者数	目標年度	20年度	
			目標値	10,000 人	
			実績値	18,290 人	
			達成度	182.9 %	
【その結果、どのような成果を実現したいか】 ※成果=目的	本町のスポーツ活動の活性化と健康増進を図る。 職員の労務管理の軽減 体育施設運営費のコスト削減	②	目標年度		
			目標値		
			実績値		
			達成度	%	
内容(どのような手段で何を行ったか)					
各体育施設の管理委託	指名競争入札により業者を決定し、各維持管理業務を委託 (スポーツセンター、武道センター、学校開放事業(雄武小学校及び中学校))				

3 事務事業の評価(Check)

(1)事務事業の必要性(町民ニーズ・社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか。当該事務事業を実施しない場合の支障、既存事務事業との機能重複や見直しによる対応可能性)

必要 必要／概ね必要／ 課題あり	<input type="checkbox"/> 義務的なもの	各施設において不特定多数の出入りがあり、利用受付、備品貸出等の業務が発生するため、管理人の常駐は必要であり、町民の健康維持増進・交流の場として活用されているため、本事業は必要である。
	<input type="checkbox"/> 全部 <input type="checkbox"/> 一部	

(2)事務事業の有効性(期待する効果が得られたか)

有効 有効／概ね有効／ 課題あり	設定した目標値の達成状況	施設の適正かつ安全管理に充分注意しており、良好な状態を保持していることから、利用者からの評判もよい。
	<input checked="" type="checkbox"/> 達成 <input type="checkbox"/> ほぼ達成 <input type="checkbox"/> 下回る	

(3)事務事業の効率性(コストに見合った効果が得られたか、計画上のコストを下げる工夫をしたか)

効率的 効率的／概ね効率的／ 課題あり	判断の理由	業務の性質上人件費が主な経費であることから、今後も委託業者と内容等について協議を行っていく。
	<input type="checkbox"/> 事業費抑制 <input type="checkbox"/> 人員削減 <input type="checkbox"/> 時間短縮・作業軽減 <input checked="" type="checkbox"/> その他	

(4)事務事業の公平性

公平 公平／概ね公平／ 公平でない	判断の理由	競争入札を実施。
	<input type="checkbox"/> 受益者負担がある <input type="checkbox"/> 受益者負担がない <input type="checkbox"/> 受益が一部に偏る <input checked="" type="checkbox"/> その他	

4 総合評価【A～D】

- A:計画通り事業が進んでいる。目標が達成された。今後も計画通り事業を進めることが適当 等
 B:ほぼ計画通りに進んでいるが目標に達成していない。事業の進め方に改善が必要 等
 C:当初の計画を達成できていない。事業規模、内容、実施主体等の見直しが必要 等
 D:事業効果が表れていない。事業の統合、休・廃止の検討が必要 等

自己評価(一次評価)	評価会議評価(二次評価)	町長評価(三次評価)
A		
町民の親睦や健康増進には必要不可欠な施設である。		

今後の展開方向
(Action)

継続／現状維持		
本町のスポーツ活動を支える基幹施設であり、町民の憩いの場でもあり、生涯スポーツの推進には欠かすことのできないものであるため、今後も継続すべきである。		

*展開方向の区分

- 継続／現状維持又は拡充又は縮小又は統合又は内容の見直し・変更 終了 休止 廃止

5 その他特記事項 (アンケート調査など外部評価を受けた場合は、その旨記入)

--